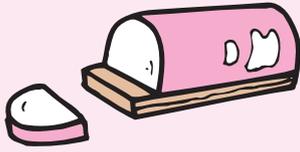




「かまぼこ」と歯科



曾於郡歯科医師会
せと歯科医院
瀬戸 大基氏



日本各地の名産品としてよく見かけるものにかまぼこがあります。電車に乗る前にキオスクでかまぼこビールを買って乗り込む人をたまにみかけます。日本人の好物のひとつなのでしよう。かまぼこはスケソウダラのすり身をアルギン酸で固めたものです。

実は、このアルギン酸は歯科でも良く使うのです。歯医者さんで歯の型を取ることを（印象を採る）といい、型を取る材料を（印象材）といいます。歯科医療で最も使われている印象材は、かまぼこに使われているのと同じアルギン酸を主成分としています。型を取るときは、息がしにくいなど不快感があるかもしれませんが、そんなときは、「これはかまぼこと同じ材料か」と思ってください。少しだけ楽になると思います。

ジオパーク発掘調査隊

5市2町で掲載しています。

今月は都城市と高原町との境界にある「御池」とその西にある「小池」を紹介します。

御池

直径約1キロ湖で、霧島火山群では最大・最深の湖で、約4,600年前のマグマ水蒸気噴火で形成された火口湖です。

御池を形成した噴火は、知られている霧島火山群の噴火中では最大規模のもので、回りを囲む火口壁は約30層の急崖を形成しています。



御池

国道223号沿いにある展望駐車場は、二子（ふたご）石（いし）の奥に高千穂峰を望む絶好の観賞スポットで、周辺には小池や御池神社などがあります。

小池

また、湖岸には野鳥の森やキャンプ場などの施設があり、野外活動の拠点となっています。

御池の西にある直径約450層の火口湖で、ほぼ垂直に切り立った100層近い火口壁を持つています。

御池野鳥の森とあわせて観察路が整備されています。

